

岡山県の総合流域防災対策

平成25年8月

岡山県吉井川圏域総合流域防災調整会議

岡山県旭川圏域総合流域防災調整会議

岡山県高梁川圏域総合流域防災調整会議

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所

岡山県土木部 河川課・防災砂防課

岡山市都市整備局 河川港湾課

— 目 次 —

・ 総合流域防災調整会議とは	2
1. 設置目的	
2. 総合流域防災調整会議の内容	
3. 設置状況	
4. 3圏域の特徴	3
5. 岡山県吉井川圏域	4
6. 岡山県旭川圏域	11
7. 岡山県高梁川圏域	18

総合流域防災調整会議とは

1. 設置目的

国土交通省中国地方整備局と岡山県、岡山市は、豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国と県と市が連携し、当該流域全体の安全度の確保状況等を調査、評価し、流域の状況や整備の進め方について国と県と市が共通の認識をもち、これに基づき双方の事業を調整し、効果的、効率的に整備を進めるための調整の場として、平成17年4月25日に、岡山県を3つの圏域に分割した総合流域防災調整会議を各圏域に設立しました。

2. 総合流域防災調整会議の内容

総合流域防災調整会議は、岡山県の一級水系吉井川、旭川、高梁川の3流域（圏域）において、国土交通省及び岡山県、岡山市の水害、土砂災害対策等の施策・事業について、以下の調整事項を実施します。

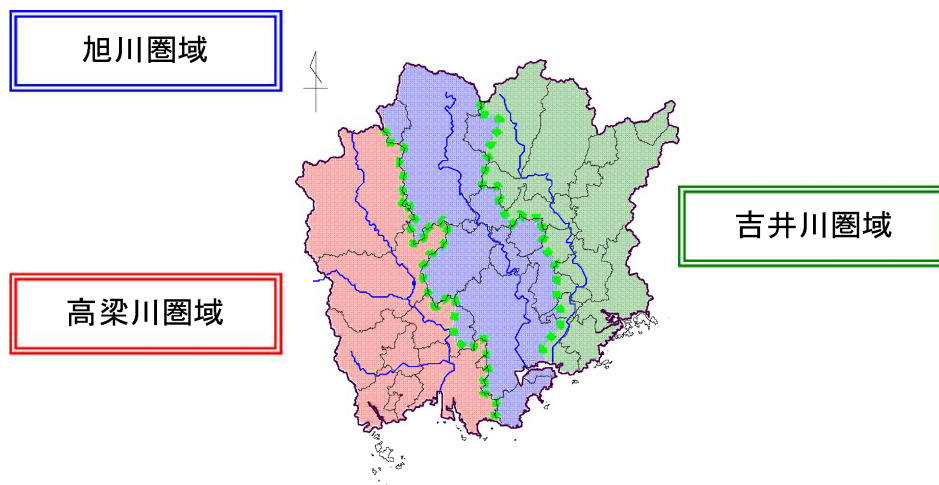
（1）水害・土砂災害についての当面の課題や整備内容の調整、整理、流域全体の災害対策を一体的に推進するための情報共有、調整等

（2）当面実施予定の事業についての調整等

本資料は、以上の調整事項に基づき、「治水対策の当面の進め方」として、とりまとめたものです。

3. 設置状況

吉井川圏域、旭川圏域、高梁川圏域の3調整会議を設置しています。



4. 3圏域の特徴

吉井川、旭川、高梁川の3流域を中心とした3圏域は、岡山県土をほぼ網羅したエリアとなっています。これら3圏域の水源は北部の中国山地に発し、津山市、新見市等を結ぶ盆地を経て、岡山県中央丘陵地帯の狭小な溪谷を蛇行し、人口、資産の集中する南部の平野を緩勾配で貫流して、瀬戸内海に注いでいます。

圏域内の年間降水量は、北部の中国山地では、2,000mm前後と比較的多くなっていますが、南部は1,200mm程度で、西日本の最小降雨地帯の一つとなっています。

下流の沿岸地域は、河川からの堆積物が作り出した沖積平野が広がるとともに、干拓により造られた平地が広がって地盤が低いため、高潮被害を受けやすい地形となっています。また、低平地を流れる緩流河川では、内水被害が起きやすい状況となっています。

また、中上流域では、河川の流下能力不足によって生じる洪水被害や、谷底平野での内水被害が生じる可能性の高い地域となっています。

岡山県内の土石流危険渓流等の土砂災害危険箇所は、約12,000箇所あり、全国で20番目に多い数となっており、土砂災害に対する危険性も高い地域となっています。

南部地域は瀬戸内海式気候で、梅雨期以外は降水量が少なく、人口が集中し、農業用水、都市用水の利用が多いため、渇水被害が生じやすい状況となっています。



岡山県南部の地盤高と河川水位の関係

5. 岡山県吉井川圏域

(1) 治水対策の現状と課題

- ・ 吉井川水系河川整備基本方針は、平成21年3月6日に公表しました。
- ・ 吉井川水系中上流ブロック河川整備計画は、平成22年3月29日に策定しました。
- ・ 吉井川流域の治水事業は、現在、当面の目標として平成10年の戦後最大洪水を対象に事業を進めています。
- ・ 上流部には、平成17年4月に完成した苦田ダムがあり洪水調節を行うとともに、県による河川改修事業が進められています。県区間の吉井川中上流域では、津山市街地に人口、資産が集中しており、洪水発生時の被害ポテンシャルが大きく、平成10年の台風10号により、津山市を中心として大きな浸水被害が発生したため、吉井川激甚災害対策特別緊急事業や皿川災害復旧助成事業により再度災害防止に努めていますが、平成16年および21年の台風による出水においても、支川吉野川などで一部氾濫が生じているため、さらに河川改修事業を促進していく必要があります。
- ・ 下流部の国の管理区間では、これまでに約7割の堤防が完成していますが河口部の高潮堤防については、平成16年の台風16号で被害が発生し、改修に着手されたばかりです。このため、高潮被害が発生しやすい状況にあることと、吉井川周辺は低平地で、朔望平均満潮位以下の面積が約44km²あり、約4万人の方々が居住しているため、氾濫が生じた場合の被害は甚大です。
- ・ 干田川、千町川流域は低平地の広がる岡山平野にあり、昭和51年の台風17号と平成2年の台風19号により甚大な浸水被害（昭和51年：4,525戸、平成2年：2,580戸）が発生し、その後、河川改修や内水排除対策が行われていますが、同様の事業を今後も促進していく必要があります。
- ・ 吉井川は、河川流量に対して、農業用水等の水利用が盛んで、特に和気町津瀬地点より下流域では、灌漑期に津瀬の平水流量の約6割強が取水され、渇水が起こりやすい状況になっていますが、苦田ダムの完成により、利水安全度が大幅に向上しました。（平成17年6月の渇水時には、吉井川の水量の概ね2割に相当する水がダムから補給され、6月の降雨量が平成6年渇水時の半分以下だったにもかかわらず、深刻な水不足を回避することが出来ました。）



岡山市東区西幸西 家屋浸水痕跡
(H16.8 台風 16 号)



岡山市東区乙子 浸水状況
(H16.8 台風 16 号)



熊山町千鉢 浸水状況 (現赤磐市)
(H10.10 台風 10 号)



和気町和気 道路冠水状況
(H10.10 台風 10 号)



津山市平福 浸水状況
(H10.10 台風 10 号)



美作市尾谷 土石流発生状況
(H16.9 台風 21 号)



津山市上高倉 風倒木被害状況
(H16.10 台風23号)



美作市田原 がけ崩れ状況
(H21.8 台風9号)



美作市江見 被災状況
(H21.8 台風9号)

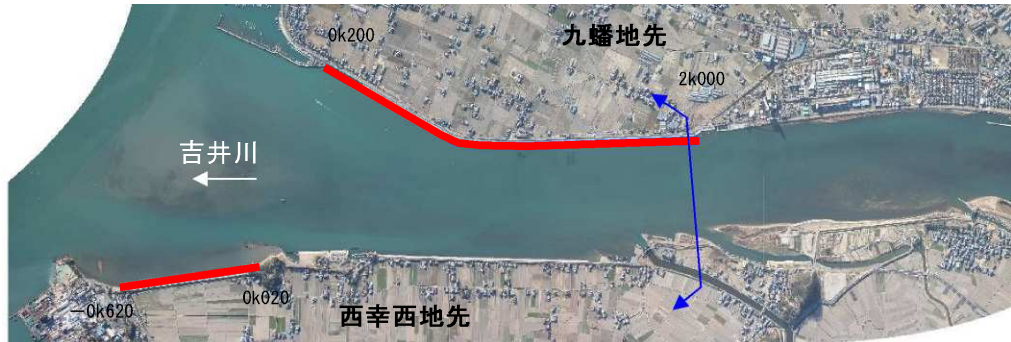


美作市山口 被災状況
(H21.8 台風9号)

(2) 治水対策の当面の進め方

①河川

- ・岡山市東区九幡地先、西幸西地先は低平地であり、堤防も高さ、断面不足であるため、高潮堤防の整備を実施します。また、九幡地先、西幸西地先ともに耐震対策に着手します。



岡山市東区九幡地先、西幸西地先の高潮整備・耐震対策

- ・吉井川本川の中上流部、及び吉野川や広戸川など、支川の改修を推進します。平成21年度から吉井川（佐伯工区）の整備も行っています。
- ・平成21年8月の台風9号により吉野川及び支川山家川等で甚大な浸水被害が発生しました。山家川では災害復旧助成事業により再度災害防止を目的とした改良復旧を実施し、また、吉野川では河川災害復旧等関連緊急事業により短期間で緊急的に整備を実施しており、今年度末の完成をもって事業完了となります。

② 砂防

- ・砂防堰堤や擁壁工等の土砂災害防止対策を、計画的に促進していきます。
- ・自然環境や景観に配慮した透過型堰堤の整備を促進していきます。
- ・土砂災害防止法に基づく基礎調査を促進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を促進していきます。
- ・住民の自主避難や市町村の避難勧告等の防災活動を支援するため、「土砂災害警戒情報」を气象台と共同で発表し、また、これを補足する「岡山

県土砂災害危険度情報」を県単独でインターネットを通じ、広く提供しています。

- ・ 中谷川支流砂防事業、他 1 箇所の事業が完了しました。



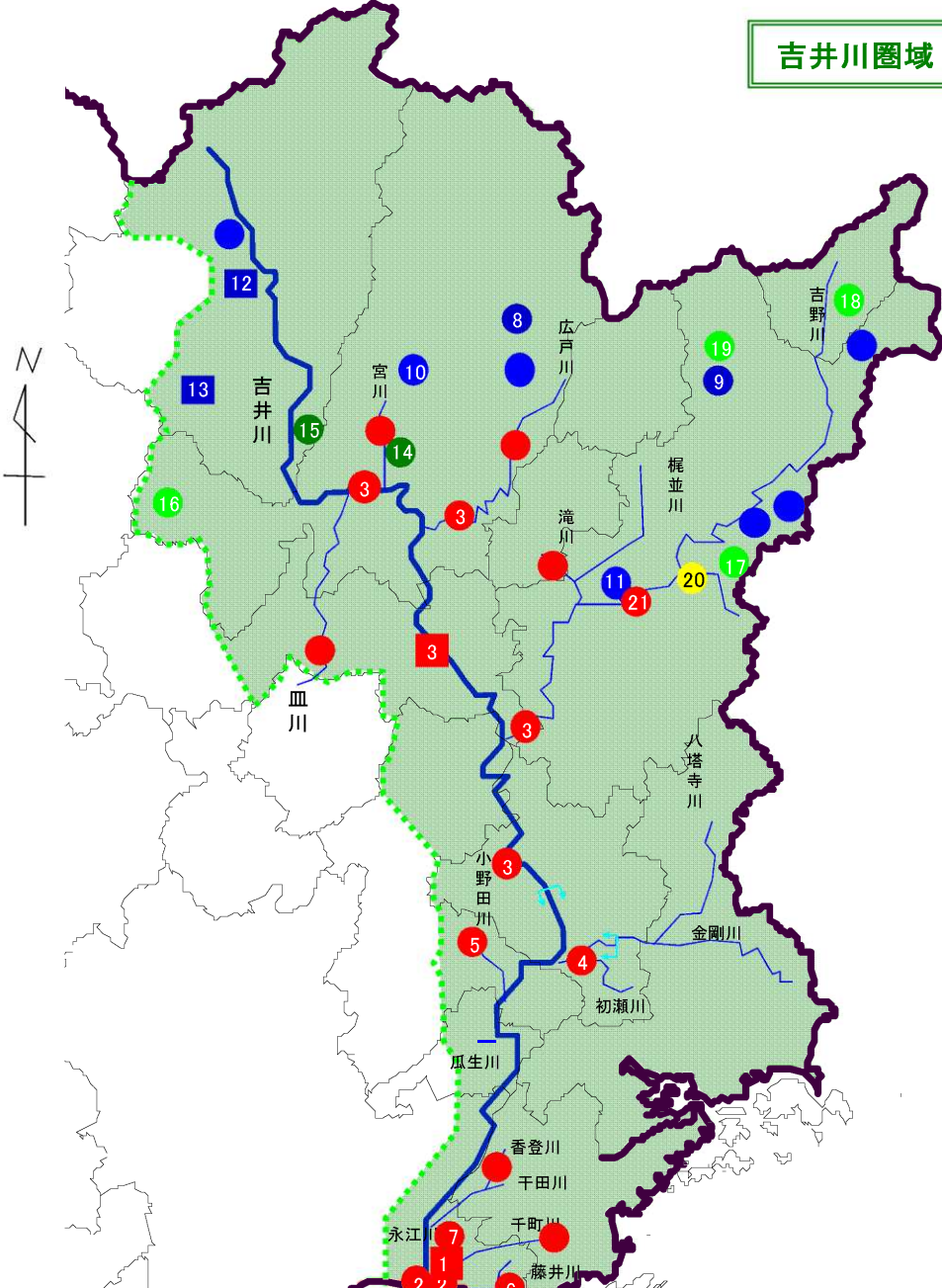
中谷川支流（鏡野町）砂防堰堤工事

(3) 平成25年度主要事業箇所一覧表

番号	事業名	河川名 (箇所名)	所在地	事業内容	事業主体	備考
1	河川改修	吉井川(乙子)	岡山市東区乙子	橋梁上部工	国土交通省	24年度完成
2	河川改修	吉井川(九幡) 吉井川(西幸西)	岡山市東区九幡 岡山市東区西幸西	高潮対策・耐震対策	国土交通省	
3	河川改修	吉井川	和気町～津山市	築堤、掘削、護岸、 胸壁、測定、用地補償	岡山県	
4	河川改修	初瀬川	和気町衣笠	樋門、護岸、築堤	岡山県	
5	河川改修	小野田川	赤磐市殿谷	築堤、護岸、掘削、 橋梁	岡山県	
6	河川改修	幸崎川(藤井川)	岡山市東区東幸崎	水路工	岡山県	
7	河川改修	永江川	岡山市東区西大寺 川口	用地測定、用地補償	岡山市	
	河川改修	その他6河川(千町川、香登川、滝川、広戸川、宮川、皿川)			岡山県	
8	砂防	あわら川	津山市加茂町成安	堰堤	岡山県	
9	砂防	塩木川	美作市東右手	堰堤	岡山県	
10	砂防	山田川	津山市上横野	堰堤	岡山県	
	砂防	他5箇所			岡山県	
11	砂防	朽木中谷川	美作市朽木	測定設計	岡山県	
12	砂防	西屋川	鏡野町西屋	堰堤	岡山県	24年度完了
13	砂防	中谷川支流	鏡野町中谷	堰堤	岡山県	24年度完了
14	地すべり	沼地区	津山市沼	横ボーリング	岡山県	
15	地すべり	土居地区	鏡野町土居	横ボーリング	岡山県	
16	急傾斜	原地区	津山市坪井上	擁壁	岡山県	
17	急傾斜	田原地区	美作市田原	擁壁	岡山県	
18	急傾斜	影石地区	西粟倉村影石	用地買収	岡山県	
19	急傾斜	山元地区	美作市右手	測定設計	岡山県	24年度新規
20	災害復旧 (助成)	山家川	美作市江見～土居	護岸、堰、橋梁	岡山県	25年度完了
21	河川改修	吉野川	美作市平田～江見	測定設計、用地補償、 築堤、護岸、橋梁	岡山県	25年度完了

岡山県 平成25年度 事業実施箇所一覧

吉井川圏域



凡 例 ○はH25実施 □はH24完了	
●■	河川改修事業
●■	災害復旧(助成)事業
●■	砂防事業
●■	地すべり対策事業
●■	急傾斜地崩壊対策事業

6. 岡山県旭川圏域

(1) 治水対策の現状と課題

- ・ 旭川水系河川整備基本方針は、平成20年1月28日に公表しました。
- ・ 旭川水系河川整備計画（国管理区間）は平成25年3月15日に策定しました。
- ・ 旭川水系中流ブロック河川整備計画は、平成15年3月3日に策定しました。
- ・ 中上流部の県の区間には、湯原ダム、旭川ダムがあり洪水調節を行うとともに、河川改修事業が進められています。また、下流部の国の管理区間では、旭川、百間川の改修が進められ、これまでに約8割の堤防が完成していますが、高潮堤防については着手されていません。このため、高潮被害が発生しやすい状況にあります。また、旭川周辺は低平地で、朔望平均満潮位以下の面積が約42km²あり、約13万人の方々が居住しているため、氾濫が生じた場合の被害は甚大です。平成16年の台風16号では、河口部で高潮被害が発生し、緊急復旧が行われました。
- ・ 平成10年の台風10号では、旭川上流域で集中豪雨が 발생し、下流では、岡山市中区東西中島地区や、北区中原地区で大きな被害が発生しました。また、中上流部でも浸水被害が発生しました。
- ・ また、平成23年9月の台風12号では、圏域内の二級河川笹ヶ瀬川等の未改修区間において、一部越水するなどの浸水被害が発生したため、各河川で改修事業を推進していく必要があります。



岡山市中区東西中島地区 家屋浸水状況
(H10.10 台風10号)



岡山市北区中原地区 浸水状況
(H10.10 台風10号)



岡山市中区江並地区 浸水痕跡
(H16. 8 台風 16 号)



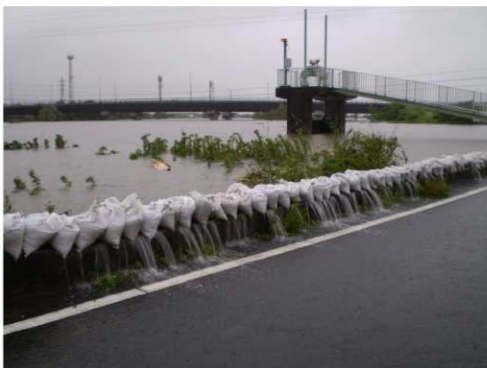
岡山市中区住吉町地区 被害状況
(H18. 7 梅雨前線豪雨)



御津町宇垣地区 浸水状況(現岡山市北区)
(H10. 10 台風 10 号)



岡山市南区宮浦地内の土石流発生状況
(H16. 9 台風 21 号)



岡山市北区米倉地内 越水状況
(H23. 9 台風 12 号)



玉野市宇野七丁目地内の土石流発生状況
(H16. 10 台風 23 号)

(2) 治水対策の当面の進め方

①河川

- ・百間川河口水門は、計画流量の5割程度しか流下能力がないため、現水門の東側に3門の水門を増築しました。また、百間川において、流下能力が不足する原尾島箇所の河道掘削及び低水護岸など、百間川（旭川放水路）の改修事業を促進します。



岡山市中区沖元の百間川河口水門増築事業



岡山市中区今在家の河川防災ステーション事業

- ・河川防災ステーション敷地内に、中消防署、水防センターを整備し、災害発生時の迅速な対応が可能となりました。
- ・岡山市南部の倉安川流域において、河川管理者と地元自治体によるハード対策をはじめ、岡山市や地元住民と連携したソフト対策を充実させるなどの段階的で重層的な旭川総合内水対策計画に基づき、旭川総合内水緊急対策事業を行っています。今年度は、東区の倉安川排水機場増設の施工を行い、完成を目指します。
倉安川は引き続き流域治水対策河川事業により、護岸改修を行っていきます。



岡山市東区 倉安川排水機場

- ・旭川河口部は低平地であり、岡山市中区三幡箇所（左岸）及び福島箇所（右岸）では、堤防の高さ、断面とも不足しているため、高潮堤防の整備を実施します。また、耐震対策をあわせて実施します。



岡山市中区三幡地先の高潮整備

- ・既設の百間川河口水門のゲート扉体ローラ取替等を行い、操作の確実性向上を図ります。
- ・旭川本川（中流部）及び支川備中川、砂川等の改修を推進します。
- ・二級河川笹ヶ瀬川の県道岡山倉敷線（白石橋）から、足守川合流点間の整備については、今年度末をもって概ね完成する見込みであり、その後は引き続き合流点から下流の区間について改修を行っていきます。

② 砂防

- ・砂防堰堤や擁壁工等の土砂災害防止対策を、計画的に促進していきます。
- ・自然環境や景観に配慮した透過型堰堤の整備を促進していきます。
- ・土砂災害防止法に基づく基礎調査を促進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を促進していきます。
- ・住民の自主避難や市町村の避難勧告等の防災活動を支援するため、「土砂災害警戒情報」を气象台と共同で発表し、また、これを補足する「岡山県土砂災害危険度情報」を県単独でインターネットを通じ、広く提供しています。

- ・ 火の奥川砂防事業、沖割地区急傾斜地崩壊対策事業が完了しました。



火の奥川（吉備中央町）砂防堰堤



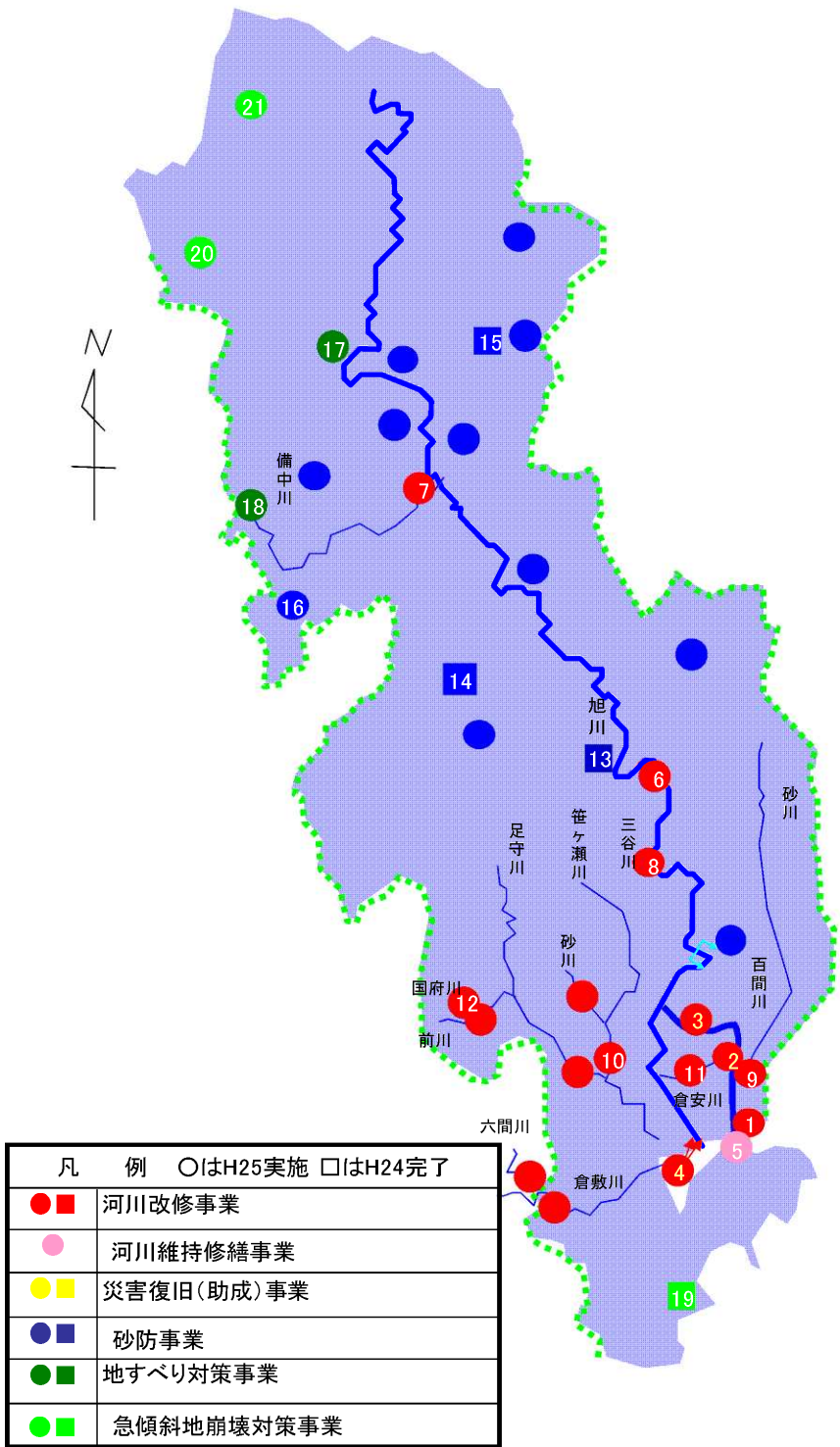
沖割地区（玉野市）急傾斜地崩壊対策

(3) 平成25年度主要事業箇所一覧表 (位置図含む)

番号	事業名	河川名 (箇所名)	所在地	事業内容	事業主体	備考
1	河川改修	百間川 (沖元)	岡山市中区沖元	防潮堤工、防潮堤撤去工	国土交通省	
2	河川改修	旭川 (中川)	岡山市東区中川	排水ポンプ増設	国土交通省	
3	河川改修	百間川 (原尾島)	岡山市中区原尾島	河道掘削、護岸工	国土交通省	
4	河川改修	旭川 (三幡) 旭川 (福島)	岡山市中区三幡 岡山市南区福島	高潮対策 耐震対策	国土交通省	
5	河川維持	百間川 (沖元)	岡山市中区沖元	水門ゲート整備	国土交通省	
6	河川改修	旭川 (小倉)	岡山市北区建部町 小倉	築堤、護岸、補償	岡山県	
7	河川改修	備中川	真庭市落合垂水	築堤、掘削、用地補償	岡山県	
8	河川改修	三谷川	岡山市北区御津宇垣	護岸	岡山県	
9	河川改修	砂川	岡山市東区西大寺	護岸、橋梁、排水機 場、テスト	岡山県	
10	河川改修	笹ヶ瀬川	岡山市北区久米	築堤、補償、テスト	岡山県	
11	河川改修	倉安川	岡山市中区 平井～中川町	掘削、護岸、橋梁、 テスト	岡山市	
12	河川改修	国府川	総社市金井戸	用地補償	総社市	
	河川改修	その他5河川(足守川、砂川(一宮)、前川、倉敷川、六間川)			岡山県	
13	砂防	オノ木川	岡山市北区建部町 田地子	堰堤	岡山県	24年度完成
14	砂防	火の奥川	吉備中央町豊岡下	堰堤	岡山県	24年度完成
15	砂防	鍋谷川	真庭市樫西	堰堤	岡山県	24年度完成
	砂防	その他10箇所			岡山県	
16	砂防	東谷川	真庭市下中津井	堰堤	岡山県	
17	砂防	汐滝谷川	真庭市組	堰堤	岡山県	24年度新規
18	地すべり	上皆部地区	真庭市上皆部	集水ポーリング	岡山県	
19	急傾斜	沖割地区	玉野市玉一丁目	法枠	岡山県	24年度完成
20	急傾斜	戸島地区	新庄村戸島	擁壁	岡山県	
21	急傾斜	天王地区	真庭市蒜山上徳山	法枠	岡山県	

岡山県 平成25年度 事業実施箇所一覽

旭川圏域



7. 岡山県高梁川圏域

(1) 治水対策の現状と課題

- ・ 高梁川水系河川整備基本方針は、平成19年8月16日に公表しました。
 - ・ 高梁川水系河川整備計画（国管理区間）は、平成22年10月14日に策定しました。
 - ・ 高梁川水系中上流ブロック河川整備計画は、平成21年4月28日に策定しました。
 - ・ 高梁川水系小田川ブロック河川整備計画は、平成22年6月29日に策定しました。
-
- ・ 高梁川下流域の国の管理区間は改修の歴史が古く、明治43年の全国第1期改修河川（全20河川）に指定され、酒津付近から東西2つの流れに分かれていた高梁川を1本化し、堤防の築造や堰の改築を行い、大正14年に概ね現在の形が出来上がりました。今後の治水事業は、河川整備計画に基づき段階的に進めていきます。
-
- ・ 下流域の堤防は高さが非常に高く、しかも単断面で、多くの区間で必要な堤防の断面を満足していません。このため、完成堤防は4割弱で、今後は洪水時の堤防の崩落や漏水に対する安全性の点検と、安全度の低いところについては堤防の強化を推進していく必要があります。
-
- ・ また、高梁川周辺の低平地は、朔望平均満潮位以下の面積が約40km²あり、約10万人の方々が居住しているため、氾濫が生じた場合の被害は甚大です。平成16年の台風16号では、河口部で高潮被害が発生し緊急復旧工事が行われ、高潮計画の見直しが必要となっています。



倉敷市玉島乙島 被害状況
(H16.8 台風16号)



倉敷市連島町 被害状況
(H16.8 台風16号)



倉敷市玉島乙島 台風時越波状況
(H16.9 台風 18 号)



倉敷市玉島乙島 浸水状況
(H16.8 台風 16 号)



総社市清音 漏水発生状況
(H18.7 梅雨前線豪雨)



倉敷市児島唐琴 土石流発生状況
(H16.10 台風 23 号)

- ・ 柳井原貯水池は、第 1 期改修時に旧西高梁川の河道を締め切り、農業用水確保のための貯水池として利用することを目的に造られましたが、十分な貯水の機能が発揮されないまま現在に至っています。
- ・ 支川小田川は、高梁川本川の背水の影響により、洪水時の水位が高くなり、内水被害が頻発しています。このため、河道の付け替えや、河床掘削等により洪水時の水位を下げ、治水安全度の向上を図る必要があります。
- ・ 高梁川上流部や支川小田川では、平成 16 年の度重なる台風により、警戒水位を超える出水があり、改修事業を促進していく必要があります。

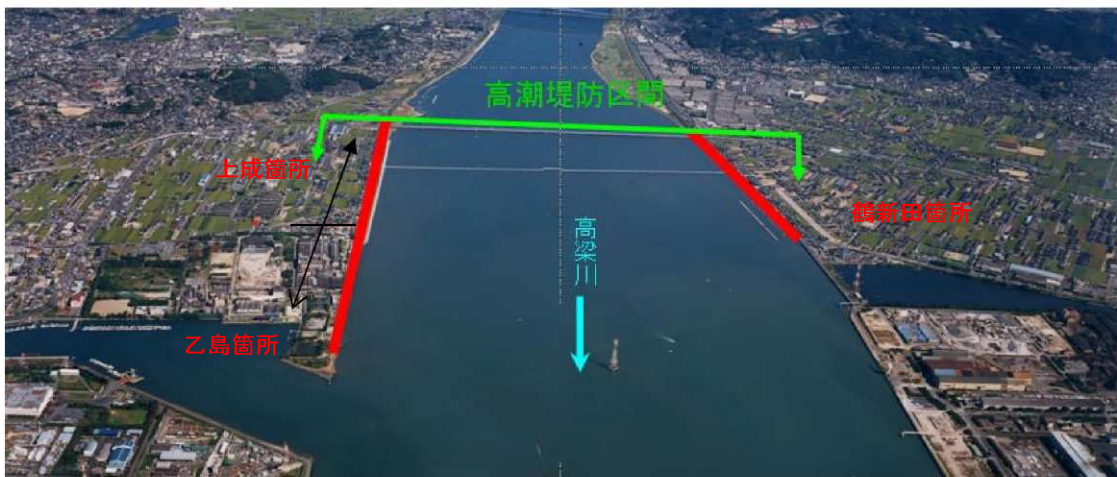


真備町 洪水状況（現倉敷市）
 (S47.7 梅雨前線豪雨)

(2) 治水対策の当面の進め方

① 河川

- ・高梁川河口部は低平地であり、右岸側の倉敷市乙島箇所及び上成箇所では、堤防の高さが不足しているため、高潮堤防整備を実施します。また、左岸の鶴新田箇所の耐震対策を推進します。



倉敷市乙島箇所、上成箇所、鶴新田箇所の高潮整備・耐震対策

- ・倉敷市の巻倒箇所、船穂箇所、片島箇所、総社市の古地箇所では、堤防の強化対策を推進します。



倉敷市巻倒箇所の堤防強化対策

- ・高梁川（新見）及び小田川等のを推進します。

② 砂防

- ・ 砂防堰堤や擁壁工等の土砂災害防止対策を、計画的に促進していきます。
- ・ 自然環境や景観に配慮した、透過型堰堤を促進していきます。
- ・ 土砂災害防止法に基づく基礎調査を促進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を促進していきます。
- ・ 住民の自主避難や市町村の避難勧告等の防災活動を支援するため、「土砂災害警戒情報」を気象台と共同で発表し、また、これを補足する「岡山県土砂災害危険度情報」を県単独でインターネットを通じ、広く提供しています。
- ・ 大塚川砂防事業、小川内浜地区急傾斜地崩壊対策事業が完了しました。



大塚川（笠岡市）砂防堰堤工



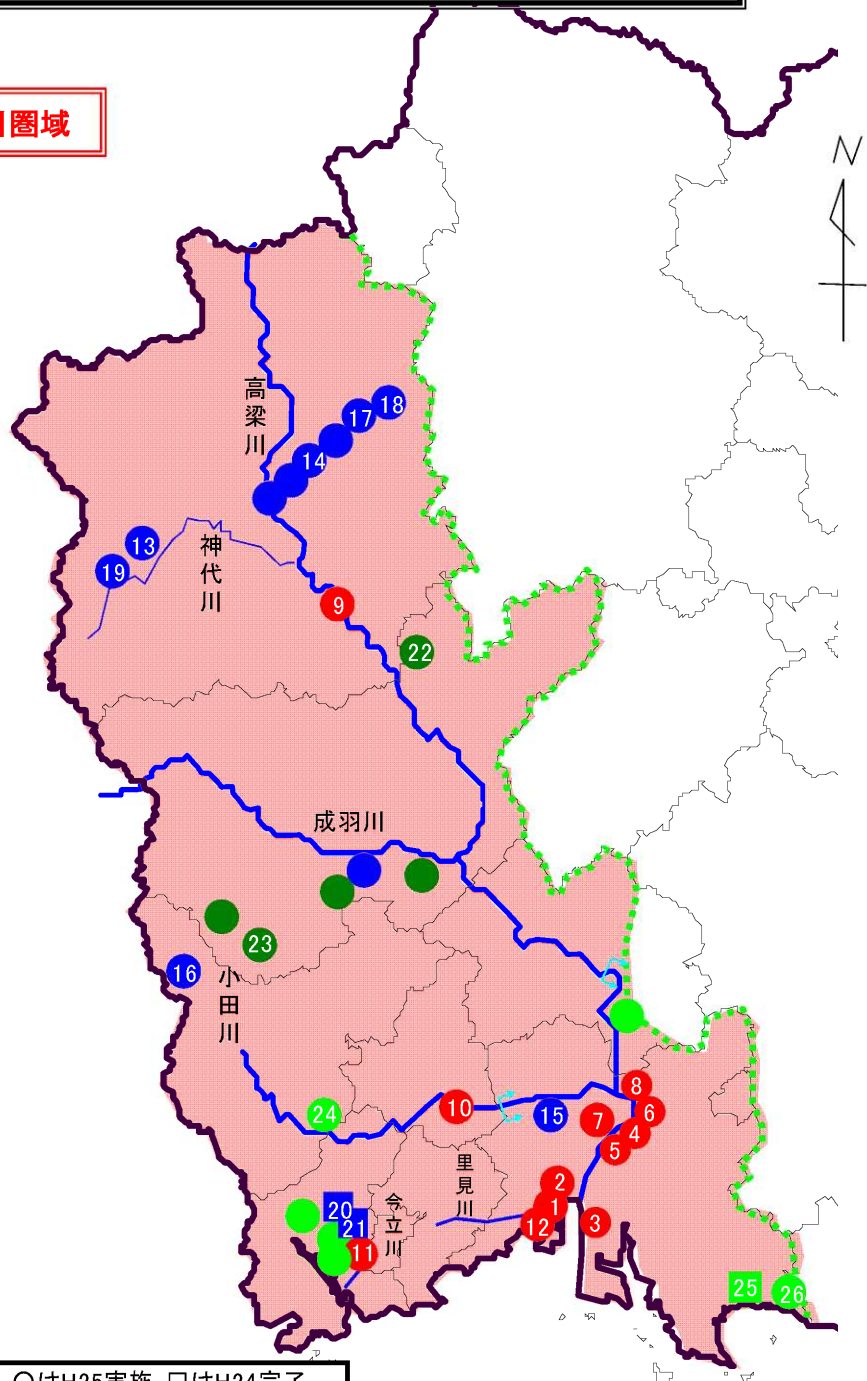
小川内浜地区（倉敷市）急傾斜地崩壊対策

(3) 平成25年度主要事業箇所一覧表

番号	事業名	河川名 (箇所名)	所在地	事業内容	事業主体	備考
1	河川改修	高梁川(乙島)	倉敷市乙島	高潮対策	国土交通省	
2	河川改修	高梁川(上成)	倉敷市上成	高潮対策	国土交通省	
3	河川改修	高梁川(鶴新田)	倉敷市鶴新田	耐震対策	国土交通省	
4	河川改修	高梁川(巻倒)	倉敷市巻倒	質的整備	国土交通省	
5	河川改修	高梁川(片島)	倉敷市片島	質的整備	国土交通省	
6	河川改修	高梁川(酒津)	倉敷市酒津	質的整備	国土交通省	
7	河川改修	高梁川(船穂)	倉敷市船穂	質的整備	国土交通省	
8	河川改修	高梁川(古地)	総社市古地	質的整備	国土交通省	
9	河川改修	高梁川	新見市正田	掘削、護岸、テスト、補償	岡山県	
10	河川改修	小田川	矢掛町矢掛	堰、護岸、テスト	岡山県	
11	河川改修	今立川	笠岡市絵師	築堤、掘削、護岸	岡山県	
12	河川改修	溜川	倉敷市玉島	護岸	岡山県	
13	砂防	仙木屋谷川	新見市神郷下神代	堰堤	岡山県	
14	砂防	杉原谷川	新見市菅生	テスト	岡山県	24年度新規
15	砂防	谷本川	倉敷市真備町服部	テスト	岡山県	24年度新規
	砂防	他4箇所			岡山県	
16	砂防	日指川	井原市上鴨	テスト	岡山県	24年度新規
17	砂防	今井川	新見市大佐田治部	テスト	岡山県	24年度新規
18	砂防	田平川	新見市大佐田治部	テスト	岡山県	24年度新規
19	砂防	三信谷川	新見市神郷下神代	テスト	岡山県	24年度新規
20	砂防	大塚川	笠岡市今立	堰堤	岡山県	24年度完成
21	砂防	宮地川	笠岡市笠岡	堰堤	岡山県	24年度完成
22	地すべり	大松地区	高梁市中井町	アンカー工	岡山県	
23	地すべり	小角地区	高梁市川上町	横ボーリング	岡山県	
	地すべり	他2箇所			岡山県	
24	急傾斜	寺戸地区	井原市西江原町	擁壁	岡山県	
25	急傾斜	小川内浜地区	倉敷市児島小川	法枠	岡山県	24年度完成
	急傾斜	他4箇所			岡山県	
26	急傾斜	田の口東向地区	倉敷市田の口	テスト	岡山県	24年度新規

岡山県 平成25年度 事業実施箇所一覧

高梁川圏域



凡 例	○はH25実施 □はH24完了
●■	河川改修事業
●■	災害復旧(助成)事業
●■	砂防事業
●■	地すべり対策事業
●■	急傾斜地崩壊対策事業